

一

次のAからCまでの短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

A

秋暮れて今年もさむし<sup>こご</sup>午後はやく日かげる庭の白菊の光り

きのしたりげん  
木下利玄

B

水すまし<sup>ながれ</sup>流にむかひさかのぼる<sup>(注1)な</sup>汝がいきほひよ<sup>かす</sup>微かなれども

さいとうもきち  
斎藤茂吉

C

街灯の光とどかぬ<sup>(注2)</sup>舗道にて<sup>おちば</sup>落葉あかるく月照りにけり

さいとうさたろう  
佐藤佐太郎

(注1)

汝＝おまえ。

(注2)

舗道＝表面を平らに舗装した道路。

一 Aの短歌について、言葉のつながりや意味のまとまりから切れめを付けるとしたらどこになりますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。(「/」は切れめを表します。)

- 1 秋暮れて／今年もさむし午後はやく日かげる庭の白菊の光り
- 2 秋暮れて今年もさむし／午後はやく日かげる庭の白菊の光り
- 3 秋暮れて今年もさむし午後はやく／日かげる庭の白菊の光り
- 4 秋暮れて今年もさむし午後はやく日かげる庭の／白菊の光り

二 一で取り上げたような、一首の途中に置かれている意味上の切れめを何と言いますか。その用語を書きなさい。

三 次の文章は、Bの短歌について書かれたものです。  
を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

に入る言葉として最も適切なもの

水すましは、池や小川にいる小さな虫。この短歌は、この小さな虫が懸命に足を動かし、  
進んでいく様子を詠んでいる。  
 水面を少しずつ

- 1 水の流れに従って
- 2 水の流れを避けて
- 3 水の流れを横切って
- 4 水の流れに逆らって

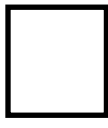
四 Cの短歌について書かれたものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 街灯の光も月の光も届かない舗道で、落ち葉が明るく光っているように見えて不思議に思ったことを詠んでいる。

2 街灯の光と月の光との両方に照らし出された舗道を歩き、ひときわ輝く落ち葉を見付けて驚いたことを詠んでいる。

3 街灯の光が届かない舗道なのに、落ち葉が光っているのを見て月の明るさに心を動かされたことを詠んでいる。

4 街灯の光で照らされた落ち葉があまりに明るくて、月が照っていることにも気付かなかったことを詠んでいる。



時間があったら挑戦してみよう

四について、あなたは、なぜその答えを選んだのですか。Cの短歌の中の言葉や、自分が選んだ答えの中の言葉を使いながら説明してみましょう。

--

一 次のAからCまでの短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

A 秋暮れて今年もさむし<sup>ごご</sup>午後はやく日かげる庭の白菊の光り

きのしたりげん  
木下利玄

B 水すまし<sup>ながれ</sup>流にむかひさかのぼる<sup>(注1)</sup>汝がいきほひよ<sup>かす</sup>微かなれども

さいとうもきち  
斎藤茂吉

C 街灯の光とどかぬ<sup>(注2)</sup>舗道にて落葉<sup>おちば</sup>あかるく月照りにけり

さとうきたろう  
佐藤佐太郎

(注1) 汝はおまえ。

(注2) 舗道は表面を平らに舗装した道路。

一 Aの短歌について、言葉のつながりや意味のまとまりから切れめを付けるとしたらどこになりますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。(「/」は切れめを表します。)

- 1 秋暮れて／今年もさむし午後はやく日かげる庭の白菊の光り
- 2 秋暮れて今年もさむし／午後はやく日かげる庭の白菊の光り
- 3 秋暮れて今年もさむし午後はやく／日かげる庭の白菊の光り
- 4 秋暮れて今年もさむし午後はやく日かげる庭の／白菊の光り

言い切りに  
なっているのは  
どれかな？

2

二 一で取り上げたような、一首の途中に置かれている意味上の切れめを何と言いますか。その用語を書きなさい。

しかり  
覚えよう！

句切れ

三 次の文章は、Bの短歌について書かれたものです。  
を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

に入る言葉として最も適切なもの

水すましは、池や小川にいる小さな虫。この短歌は、この小さな虫が懸命に足を動かし、  
進んでいく様子を詠んでいる。 水面を少しずつ

- 1 水の流れに従って
- 2 水の流れを避けて
- 3 水の流れを横切って
- 4 水の流れに逆らって

「むかひ」  
「すかのぼる」

に注目！

4



〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号		調査の名称（実施学年）	正答率（％） （左：全国　右：長野県）	
一	一	平成 21 年度　全国学力・学習状況調査（3 年）	28.9	24.1
	二		※	
	三		83.6	84.2
	四		77.9	77.9

※ 二に関しては、今回新たに付加した問題のため、過去のデータはありません。

〔参考〕出題の趣旨

一	<p>短歌を読む際に、次のことができるかどうかをみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむこと。</li> <li>・語句の意味を理解すること。</li> <li>・表現の仕方に注意して読み、内容について理解すること。</li> </ul>
---	---

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（％） （全国）	自校の反応率	正答
一	一	1	1 と解答しているもの	13.8		
		2	2 と解答しているもの	28.9		◎
		3	3 と解答しているもの	53.9		
		4	4 と解答しているもの	2.5		
		9	上記以外の解答	0.0		
		0	無解答	0.8		
	二	1	「句切れ」と解答しているもの	—		◎
		9	上記以外の解答	—		
		0	無解答	—		
	三	1	1 と解答しているもの	8.6		
		2	2 と解答しているもの	3.5		
		3	3 と解答しているもの	3.5		
		4	4 と解答しているもの	83.6		◎
		9	上記以外の解答	0.0		
		0	無解答	0.9		
	四	1	1 と解答しているもの	11.7		
		2	2 と解答しているもの	4.3		
		3	3 と解答しているもの	77.9		◎
		4	4 と解答しているもの	5.1		
		9	上記以外の解答	0.0		
		0	無解答	1.0		

※「時間があったら挑戦してみよう」 記述例

〔選択肢 3 を選んだ場合〕

「Cの短歌には、『街灯の光とどこかぬ舗道』『落葉あかるく』とあり、舗道には街灯の光がとどいていないこと、それなのに、落葉があかるく光っていることが分かる。また、『月照りにけり』という言葉で、月が照っていることに作者が気づいていることも分かる。以上の理由から 3 を選んだ。」

〔選択肢 1 を選んだ場合〕

「Cの短歌には、『街灯の光とどこかぬ舗道』『落葉あかるく』とあり、街灯の光がとどいていない舗道なのに、落葉があかるく光っていることが分かる。作者は、その様子を不思議に感じてこの短歌を作ったと思うので、1 を選んだ。」

- 具体的な言葉を引用し、それを根拠として用いているかどうかを確かめましょう。
- 「自分がなぜそのように判断したのか」を、言葉として表す機会を設けていきましょう。
- 言葉として表されたものを比較させ、考えさせる場面を設けていきましょう。